

島根県東部で採集されたオニクワガタ (クワガタムシ科) の標本記録

皆木 宏明*

A specimen record of *Prismognathus angularis angularis* (Coleoptera, Lucanidae) in Eastern of Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

島根県で記録が少なく、しまねレッドデータで情報不足に指定されているオニクワガタ *Prismognathus angularis angularis* (コウチュウ目クワガタムシ科) の古い記録の標本を三瓶自然館の収蔵資料から確認したので報告する。

オニクワガタは体長20mm内外、♂の大腮はやや短く先端付近が上方に湾曲する特徴を有する中型のクワガタムシである。北海道から本州、四国、九州北部の主にブナ帯に生息し、特に西日本では標高1000m以上の山地で確認されている。成虫は7月下旬～9月にかけて見られるが、樹液に集まることはない(岡島ら, 2012)。これまで県内の既存記録では益田市匹見町の安蔵寺山の稜線付近のブナ林にて、1994年9月17日に1♀を採集した記録(福井, 2004)が知られている。島根県東部の県境に位置する吾妻山や比婆山の広島県側では確認されているため(中崎ら, 1984; 秋山, 1994)、県東部にも生息していると推測されていた。

今回、島根県立三瓶自然館で収蔵している昆虫標本を整理していたところ、島根県東部で採集されたオニクワガタ♂標本1個体(写真1)を確認した。

本標本は島根大学名誉教授の故三浦正氏が、1963年7月26日にピーティング法(叩き落とし法)で採集された体長21mmのオニクワガタ標本1♂である。標本ラベルの記載から、採集場所は島根県飯南町来島(旧赤来町来島)と思われる。



写真1 オニクワガタ標本(左)と添付された標本ラベル(右)

引用文献

- 秋山美文(1994)広島県産甲虫の分布記録, 比和科学博物館研究報告第32号39-60.
- 福井修二(2004)オニクワガタの採集記録. すかしばNo.52: 9.
- 中崎清隆・角島幸二・村上貴望・小阪敏和(1984)広島県産甲虫ノート(9)広島虫の会会報(23)39-43.
- 島根県環境生活部自然環境課(2014)しまねレッドデータ2014動物編, 島根県, 198p.
- 岡島秀治・荒谷邦雄監修(2012)日本産コガネムシ上科標準図鑑. 学研, 443p.

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan